



洗い場（清水町）

地名のはなし

十三

「清水」のはなし

清水町は、その名のとおり古くから良質の清水がわき出る所でした。そのため、清水町をはじめとする下古井地区には、河岸段丘に沿うようにわき水をためる洗い場がたくさん作られ、それを飲み水にしたり、洗濯物や野菜、養蚕道具を洗ったりするなど、生活用水として使われました。

洗い場のほとんどは個人所有でしたが、清水公民館近くにある洗い場は共同で使われ、近所の人が洗い物をしながらおしゃべりをする寄り合いの場となっていました。